

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名 地域高規格道路 金谷御前崎連絡道路 一般国道473号 金谷相良道路	事業区分 一般国道	事業主体 静岡県															
起終点 自：静岡県島田市菊川 至：静岡県菊川市倉沢		延長 3.3 km															
事業概要 金谷相良道路は、地域高規格道路金谷御前崎連絡道路の一部を構成する道路であり、新東名、東名、御前崎港、富士山静岡空港を連結し、陸・海・空の総合交通ネットワークを形成し、県内南北軸の道路ネットワークの強化等を目的とし、静岡県島田市菊川～静岡県菊川市倉沢までの延長3.3 kmを整備するものである。																	
H23年度事業化		H25年度用地着手															
H25年度工事着手																	
全体事業費 160億円	事業進捗率 約27%	供用済延長 km															
計画交通量 12,100台/日																	
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">B/C</th> <th style="width: 15%;">(事業全体)</th> <th style="width: 15%;">(残事業)</th> </tr> <tr> <td>2.3</td> <td></td> <td>3.2</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体)	(残事業)	2.3		3.2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">総費用</th> <th style="width: 15%;">(事業全体)</th> <th style="width: 15%;">(残事業)</th> </tr> <tr> <td>100/142億円</td> <td></td> <td>98/140億円</td> </tr> <tr> <td>事業費：98/140億円</td> <td></td> <td>維持管理費：1.3/1.3億円</td> </tr> </table>	総費用	(事業全体)	(残事業)	100/142億円		98/140億円	事業費：98/140億円		維持管理費：1.3/1.3億円
B/C	(事業全体)	(残事業)															
2.3		3.2															
総費用	(事業全体)	(残事業)															
100/142億円		98/140億円															
事業費：98/140億円		維持管理費：1.3/1.3億円															
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">総便益</th> <th style="width: 15%;">(事業全体)</th> <th style="width: 15%;">(残事業)</th> </tr> <tr> <td>318/318億円</td> <td></td> <td>306/306億円</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益：306/306億円</td> <td></td> <td>走行経費減少便益：12/12億円</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益：12/12億円</td> <td></td> <td>交通事故減少便益：0.00/0.00億円</td> </tr> </table>	総便益	(事業全体)	(残事業)	318/318億円		306/306億円	走行時間短縮便益：306/306億円		走行経費減少便益：12/12億円	走行経費減少便益：12/12億円		交通事故減少便益：0.00/0.00億円			
総便益	(事業全体)	(残事業)															
318/318億円		306/306億円															
走行時間短縮便益：306/306億円		走行経費減少便益：12/12億円															
走行経費減少便益：12/12億円		交通事故減少便益：0.00/0.00億円															
感度分析の結果 (事業全体) 交通量 : B/C=1.9~2.6(交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=2.8~3.6(交通量 ±10%) 事業費 : B/C=2.0~2.5(事業費 ±10%) 事業費 : B/C=2.9~3.6(事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=2.2~2.3(事業期間+1年) 事業期間 : B/C=3.1~3.3(事業期間+1年)																	
事業の効果等 <ul style="list-style-type: none"> ・主要交通拠点間のアクセス向上：新東名島田金谷IC、東名相良牧之原IC、富士山静岡空港へのアクセス向上 ・産業、観光活性化への寄与：金谷御前崎連絡道路の整備促進により周辺工業団地の新規進出が活発化、富士山静岡空港の利用促進 ・防災力の強化：災害リスクの高い現道部からのバイパスや、広域支援ルートに選定(H27.3) 																	
関係する地方公共団体等の意見 <ul style="list-style-type: none"> ・本路線の整備によるアクセス性の向上により、空港や御前崎港の利用促進に繋げたい。 ・牧之原市まち・ひと・しごと創生総合戦略(H27.3策定)の重点プロジェクトに位置付けられている。 																	
事業評価監視委員会の意見 事業を継続するのが相当である。																	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 <ul style="list-style-type: none"> ・造成中であった工業団地の一部が完売し、新規企業が沿線に進出。 ・富士山静岡空港の乗降客数が増加。(H23：約34万人 H26：約55万人) 																	
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率約98%、事業進捗率約27%																	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き、早期開通に向けて事業を進める。																	
施設の構造や工法の変更等 新技術・新工法の活用、工事発生土の有効活用などによりコスト縮減を図っていく。																	
対応方針 事業を継続し、早期完成を図る。																	

対応方針決定の理由

B/C「1」を上回っている。

県内交通ネットワークにおける南北軸が強化される。

空港利用の需要の高まりや、企業立地の促進もあり、本路線整備の重要性は一層高まっている。

事業概要図



出典：地理院地図（GSI Maps）を元に静岡県作成

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。